

# 地域ぐるみの侵入防止柵の設置と管理 < 諫早市 >

約10年前からイノシシ被害が発生していた諫早市多良見町の野川内地区では、個別にネットを張るなどの対策をしていましたが、十分な効果が得られず被害に困っていました。そこで、平成23年度から補助事業を活用し、集落ぐるみでの対策に取り組み始めました。この地区で育てられたみかんは、とても甘くておいしいです。

## 侵入防止柵の設置

野川内地区では、段々畑の厳しい農地条件ではあるものの、段差がある箇所では農家のアイデアを活かした丁寧な柵の設置がされ、イノシシの侵入を防いでいます。対策は、諫早市有害鳥獣対策室等からアドバイスや研修を受けて行われました。

### ▼隙間のない設置を心がけた侵入防止柵



## 侵入防止柵の維持管理

野川内地区でのワイヤーメッシュ柵設置後の維持管理では、日常の管理は農地の持ち主が行いますが、ブロックごとに責任者を決め、緊急事態が発生した場合は責任者に連絡を取り、ブロック内で情報共有をする管理体制が明確にされています。

### ▼集落みんなで話し合い作成した地図



#### ★野川内地区の取組のポイント

1. 集落みんなで話し合いを行った。
2. 取組前にみんなでイノシシ対策研修を受けた。
3. 効率と効果を考えた上で、農地をブロック分けした。
4. 柵の設置後は、ブロックごとの責任者を決めた。
5. 収穫期前に柵の巡回点検を実施し、必要に応じた補修をした。

鳥獣による被害対策は、地域ぐるみで行うことで、より効率的・効果的に被害を防ぐことができます。イノシシ被害に困っている場合は、まずは地域で話をしてみましょう。